

UMTP 2004 年度総会 報告

昨年 5 月 19 日に当協議会が設立され、ほぼ 1 周年を迎えました。昨年度は立ち上げの年で、年度末に L1 の認定を開始することができました。今年度は、モデリング・フォーラムを開催するなど、本格的な活動の年となります。その年初において、5 月 14 日に 2004 年度の理事会・総会が開催されました。

日時： 2004 年 5 月 14 日 (金) 13:00 - 17:00
場所： 全共連ビル (東京 平河町)

スケジュール

2004 年度理事会 13:00 - 14:00

議題：下記総会 2.(2) 各部会活動方針を除く全部

2004 年度 総会 14:00 - 17:00

会長挨拶 (上野会長)

1. 報告事項

(1) 全体活動報告 (堀内副会長)

(2) 会計報告 (事務局)

2. 審議事項

(1) 全体活動方針 (堀内副会長)

(2) 各部会活動方針 (各部会主査)

(3) 理事および組織承認 (事務局)

(4) 予算(案) (事務局)

(5) 運用規定改定(案) (事務局)

3. 特別講演 15:40 - 16:40

講師 UFJIS 株式会社 IT プロデュース部 部長

千貫 素成 氏

題目 「UFJ グループの J2EE 共通基盤における UML の役割」

会長挨拶要旨



一昨年の5月に当協議会を設立し、丁度1年になります。この間、UMLやモデリングの普及・拡大に手ごたえを感じております。オージス総研が昨年10月末までやっていたUML技術者認定試験の受験者数は、最終40万人、合格者数は7万人になりました。昨年10ヶ月間だけで、受験者数16万人、合格者数3万人と増えております。また、大手自動車メーカーさんでもUMLを採用され、今日講演いただけるUFJグループさんも開発に積極的にUMLを使われております。時代の趨勢は、私たちの活動を必要としており、それゆえに当協議会に対する期待は高まりつつあり、私たちは一層の努力をしていく必要があります。会員皆様方のさらなるご支援、ご鞭撻を賜り、当協議会のさらなる発を期するものであります。

特別講演報告



ご講演される千貫 素成 氏

UFJ グループをささえる IT リーディングカンパニーである UFJIS 株式会社 IT プロデュース部の千貫部長様に、同グループの J2EE 共通基盤の構築およびその開発での UML の活用についてご講演をいただきました。

同社は、独自の J2EE フレームワークを開発され、処理方式の標準化、処理状況のモニタリング、トランザクション制御、未成熟技術の乱用防止などで安定稼動を実現されている。

開発には、共通アーキテクチャーと UML に基づく共通モデル図を活用されている。業務分析では、エンドユーザとシーケンス図を共有し、開発ベンダにもシーケンス図を提示して開発ベンダー間の競争を促すことにより、コストの大幅削減を実現された。また、UML という共通のコミュニケーションの道具を得て、開発ベンダーの SE に常駐してもらう必要がなくなったとのこと。

ご講演を拝聴して、エンドユーザ側とうまく UML を共有されていることが UML 活用のポイントではないかと感じました。

以上